

報道関係者各位

2017年12月 7日

実物大3D建物プレゼンテーションを12月より本格運用開始 営業支援ツールとしてマイクロソフト社製「ホロレンズ」を全国に配備

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、12月より全国の建築事業部(計17事業部)にマイクロソフト社製のゴーグル型ヘッドマウントディスプレイ「ホロレンズ」を配備し、実物大3D建物を用いたプレゼンテーションの運用を開始します。臨場感のある、よりわかりやすいプレゼンテーションで、土地オーナー様とご提案プランイメージの共有化を図ります。

当社は本年9月より、営業支援ツールの一つとして、首都圏エリアに限定した「ホロレンズ」の試験運用を開始し、2018年1月からの本格運用を目指していましたが、約3か月の試験運用では現場やお客様からの反響も大きく、営業支援ツールとして有用であると確認できたことから、当初の予定を1カ月早め今回の本格運用に至りました。

■3Dホログラフで建物を表示することで、よりわかりやすい提案を実現

「ホロレンズ」を装着して建設予定地を眺めると、バーチャルな実物大の建物がホロレンズ上で融合され、紙媒体などの2Dのデータでは理解しにくかった完成イメージを、実際の周辺環境の中で、立体的にわかりやすく確認できます。まさに写真や動画では味わえない臨場感で、建物の実物大の印象や、完成後の周辺環境との親和性などが、容易に、そしてよりリアルに確認できます。

■「ホロレンズ」の活用シーン

- 建設予定地にて、完成予定建物の実物大スケール・周辺環境との親和性・日当たりなどを確認
- 建設予定地に行けない方(遠隔地オーナーなど)には、ご自宅や当社事務所にて、1/30スケールに縮小した完成予定建物をご覧いただき、外観デザインなどを確認
- 建築現場で開催される現場見学会にて、来場者に完成予想建物を確認いただきイメージを共有化

【現地での視聴】



建物完成前の建設予定地



ホロレンズ越しに建設予定地を見ると、実寸大の完成イメージを確認できる。

【屋内での視聴】



屋内での利用イメージ。縮小した建物映像を360度すべてから確認できる。

■タブレットへの同時表示により、レンズ越しの映像を複数人で確認可能(12月中旬より対応予定)

「ホロレンズ」で確認している映像をWiFiでタブレット接続することで、その場にいる人たちも同時に同じ映像を見ることができるようになります(12月中旬より対応予定)。



Wi-Fi



＜本件に関するお問い合わせ＞

大東建託株式会社 経営企画室 広報CSR課 TEL:03-6718-9174